



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月12日

上場会社名 ダイコク電機株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6430 URL <https://www.daikoku.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大上 誠一郎
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理統括部長 (氏名) 岡本 篤憲 (TEL) 052-581-7111
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,818	8.5	227	△39.4	306	△23.0	191	△27.7
2022年3月期第1四半期	5,363	0.8	375	—	398	—	264	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 191百万円(△27.2%) 2022年3月期第1四半期 263百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	12.95	—
2022年3月期第1四半期	17.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	40,284	30,816	76.5
2022年3月期	41,489	31,141	75.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 30,816百万円 2022年3月期 31,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	10.00	—	30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	△8.7	50	△94.2	130	△85.9	100	△85.3	6.76
通期	26,000	6.6	850	△28.6	950	△30.5	650	△47.1	43.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	14,783,900株	2022年3月期	14,783,900株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	918株	2022年3月期	918株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	14,782,982株	2022年3月期1Q	14,782,982株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染予防対策に万全を期し、経済や社会活動の正常化が進むなか、景気を持ち直しがみられました。一方で、中国における経済活動抑制やウクライナ情勢の長期化による影響などが懸念され、資源価格の高騰や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、パチンコホールでは徹底した感染症対策を講じながら営業を継続しており、遊技機の稼動状況につきましては、2022年4月～6月の期間平均で前年同期比101.9%となりました。種別稼動状況につきましては、パチンコ機はファンから高い支持を得るヒット機種が継続的に市場投入されており、4月～6月の期間平均は前年同期比106.6%と引き続き堅調に推移しました。一方、パチスロ機では4月～6月の期間平均は前年同期比94.3%と厳しい状況が続いております(当社「DK-SIS」データ比較)。

厳しい状況が続いているパチスロ機について、6月より導入が開始された新6号機(6.5号機)や今後登場予定のスマートパチスロに注目が集まっております。

このような市場環境のもと、情報システム事業におきましては、6月よりAIホールコンピュータ「X(カイ)」向けに、煩雑な機種入替設定や表示ランプのデータ移動作業が短時間で完了する「楽らく入替運用オプション」のサービスを開始するなど、パチンコホールの業務効率化や複雑化する遊技機管理への対応につながるサービスの強化や提案に努めました。また、前年度に引き続きMIRIGATEサービスの拡大を目指し、クラウドチェーン店舗管理システム「ClarissLink」、周辺エリアの集客状況を提供する商圈分析サービス「Market-SIS」の普及促進を行いました。6月にはオンライン形式での「Webセミナー」を開催し、多くのパチンコホール経営企業にご参加いただき、パチンコ・パチスロにおけるデータ管理面からの業績向上につながる提案をしました。

制御システム事業におきましては、既存のパチンコ機に加え、事業領域拡大のため、パチスロ機の開発体制の強化及び製造環境の再整備に取り組みました。また、新規受託案件の獲得に向け、有力コンテンツ(IP)の模索、グループ会社との連携による遊技機メーカーへの企画提案活動を推進しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高58億18百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益2億27百万円(同39.4%減)、経常利益3億6百万円(同23.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億91百万円(同27.7%減)となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

(情報システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、今秋市場投入が予定されている「スマート遊技機(スマートパチンコ・スマートパチスロ)」の動向を探る動きもあり、新規出店や大規模改装工事を控える厳しい状況がありましたが、パチンコホールの一部をパチスロ機から稼動が堅調なパチンコ機へ変更する小規模な改装工事は継続しており、旧設備からの更新需要はありました。

このような市場環境のもと、「パチンコホール向け製品等」の売上は、世界的な半導体不足の影響を受け、引き合いが多い一部製品の供給が追い付かず、残念ながら販売台数を調整せざるを得ない対応となり、前年同期を下回りました。「サービス」の売上につきましては、「ClarissLink」、「Market-SIS」等の新規サービスの加盟店舗数が増加しましたが、工事収入等が減少したことから、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は42億円(前年同期比3.3%減)、セグメント利益は6億25百万円(同2.8%減)となりました。

(制御システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、前期に実施された新規機への入替が完了したことによる反動で市場全体における遊技機販売台数が減少しました。このような市場環境のもと、表示ユニット及び制御ユニット販売は前年同期を下回りましたが、部品販売は好調に推移し、前年同期を上回りました。

また、取引先遊技機メーカーの民事再生手続きによる債権に対する貸倒引当金を計上しました。

この結果、当事業の売上高は16億20百万円（前年同期比58.5%増）、セグメント損失は32百万円（前年同期はセグメント利益1億5百万円）となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率(%)
売上高	5,363	5,818	455	8.5
情報システム事業	4,343	4,200	△143	△3.3
制御システム事業	1,022	1,620	598	58.5
営業利益	375	227	△148	△39.4
経常利益	398	306	△91	△23.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	264	191	△73	△27.7

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品は増加しましたが、営業債権の回収等による減少、減価償却費の計上などによる有形固定資産及び無形固定資産の減少等により、前連結会計年度末に比べて12億5百万円減少の402億84百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、2022年3月に比べ2022年6月の設備投資額が小さかったこと、消費税等の納付などによる流動負債の「その他」の減少等により、前連結会計年度末に比べ8億80百万円減少の94億67百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払があったことにより、前連結会計年度末に比べ3億25百万円減少の308億16百万円となりました。自己資本比率は76.5%（前連結会計年度末比1.4ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日付の2022年3月期決算短信で開示いたしました、2023年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

また、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書(2022年6月30日提出)により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,581,552	16,007,211
受取手形、売掛金及び契約資産	3,395,453	2,315,061
電子記録債権	1,672,665	1,724,462
商品及び製品	3,670,843	4,612,704
仕掛品	93,408	76,917
原材料及び貯蔵品	669,916	541,788
その他	683,570	747,694
貸倒引当金	△3,210	△143,677
流動資産合計	26,764,200	25,882,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,378,195	3,326,446
土地	4,162,117	4,162,117
その他（純額）	818,769	741,590
有形固定資産合計	8,359,082	8,230,155
無形固定資産		
ソフトウェア	2,318,108	2,108,012
その他	33,547	33,421
無形固定資産合計	2,351,655	2,141,433
投資その他の資産		
繰延税金資産	679,116	672,022
投資不動産（純額）	881,248	876,946
その他	2,608,634	2,634,262
貸倒引当金	△154,032	△152,827
投資その他の資産合計	4,014,967	4,030,403
固定資産合計	14,725,705	14,401,992
資産合計	41,489,905	40,284,155

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,594,482	2,052,580
電子記録債務	2,588,490	2,883,550
短期借入金	2,000,000	2,000,000
未払法人税等	32,678	118,997
役員賞与引当金	64,240	11,940
製品保証引当金	61,368	47,646
その他	2,078,128	1,418,758
流動負債合計	9,419,388	8,533,473
固定負債		
役員退職慰労引当金	433,496	435,443
退職給付に係る負債	228,631	231,441
その他	266,675	267,507
固定負債合計	928,803	934,392
負債合計	10,348,192	9,467,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	29,662,225	29,336,273
自己株式	△1,692	△1,692
株主資本合計	31,014,540	30,688,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,680	13,415
退職給付に係る調整累計額	114,491	114,285
その他の包括利益累計額合計	127,171	127,701
純資産合計	31,141,712	30,816,289
負債純資産合計	41,489,905	40,284,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	5,363,427	5,818,991
売上原価	2,887,741	3,385,469
売上総利益	2,475,686	2,433,522
販売費及び一般管理費	2,099,843	2,205,746
営業利益	375,843	227,775
営業外収益		
受取利息	1	3,988
受取配当金	7,300	7,236
不動産賃貸料	22,537	22,272
雇用調整助成金	—	53,136
その他	6,979	9,720
営業外収益合計	36,819	96,354
営業外費用		
支払利息	1,966	1,658
為替差損	—	3,705
不動産賃貸費用	12,202	11,475
その他	138	416
営業外費用合計	14,308	17,256
経常利益	398,354	306,873
特別損失		
固定資産除却損	191	112
減損損失	3,240	2,500
特別損失合計	3,431	2,612
税金等調整前四半期純利益	394,922	304,260
法人税、住民税及び事業税	8,050	105,948
法人税等調整額	122,120	6,860
法人税等合計	130,170	112,808
四半期純利益	264,752	191,452
親会社株主に帰属する四半期純利益	264,752	191,452

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	264,752	191,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,816	734
退職給付に係る調整額	1,635	△205
その他の包括利益合計	△1,180	529
四半期包括利益	263,571	191,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	263,571	191,981

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,343,178	1,020,249	5,363,427	—	5,363,427
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,068	2,068	△2,068	—
計	4,343,178	1,022,317	5,365,495	△2,068	5,363,427
セグメント利益	643,410	105,536	748,947	△373,103	375,843

(注) 1 セグメント利益の調整額△373,103千円には、セグメント間取引消去1,758千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△374,862千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「制御システム事業」セグメントにおいて、連結子会社の有する事業用資産について、今後のキャッシュ・フローの回収可能性を鑑みて、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、3,240千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来の「営業外収益」に計上していた受取分配金は、「売上高」に含めて計上するように組替えております。当該変更により、組替え前に比べて「制御システム事業」の売上高及びセグメント利益が10,690千円増加しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,200,090	1,618,901	5,818,991	—	5,818,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,587	1,587	△1,587	—
計	4,200,090	1,620,488	5,820,579	△1,587	5,818,991
セグメント利益又は損失(△)	625,459	△32,887	592,572	△364,796	227,775

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△364,796千円には、セグメント間取引消去△157千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△364,639千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「制御システム事業」セグメントにおいて、連結子会社の有する事業用資産について、今後のキャッシュ・フローの回収可能性を鑑みて、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、2,500千円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	情報システム事業	制御システム事業	
パチンコホール向け製品等	2,740,532	—	2,740,532
サービス	1,602,645	—	1,602,645
遊技機メーカー向け表示・制御ユニット	—	573,968	573,968
部品・その他	—	446,280	446,280
顧客との契約から生じる収益	4,343,178	1,020,249	5,363,427
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,343,178	1,020,249	5,363,427

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	情報システム事業	制御システム事業	
パチンコホール向け製品等	2,604,095	—	2,604,095
サービス	1,595,994	—	1,595,994
遊技機メーカー向け表示・制御ユニット	—	407,302	407,302
部品・その他	—	1,211,598	1,211,598
顧客との契約から生じる収益	4,200,090	1,618,901	5,818,991
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,200,090	1,618,901	5,818,991